

## 栃木市人権施策推進審議会 会議録

### 会議の概要

開催日時	令和4年12月14日（水）15時00分から16時00分まで		
開催場所	栃木市役所 3階 正庁A		
出席者の氏名	委員	後藤聡子（栃木市社会教育委員） 野口邦子（栃木市民生委員児童委員協議会連合会） 大関麻由子（栃木県弁護士会） 川田 薫（部落解放同盟栃木市協議会） 染谷 充（部落解放愛する会栃木市協議会） 大出美江子（とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会）	谷中慶子（栃木市女性団体連絡協議会） 坂本邦雄（栃木市身体障がい者福祉会連合会） 大嶋弘子（栃木市国際交流協会） 田中光重（公募委員） 菊地由起（公募委員）
	事務局	瀬下昌宏（生活環境部 部長） 渡辺由夫（人権・男女共同参画課 課長） 小林晴美（人権・男女共同参画課 係長） 斎藤恵（人権・男女共同参画課 主任）	
議題	(1) 栃木市人権施策推進プラン第2期計画に関する年次報告について (2) 栃木市人権に関する意識調査（市民アンケート）について (3) その他		
傍聴人の数	0名		
配付資料	次第 栃木市人権施策推進審議会委員名簿 栃木市人権施策推進プラン（第2期計画）令和3年度年次報告書（案） 正誤表 審議委員の意見の整理 市民意識調査（市民アンケート）の実施状況 栃木市人権施策推進プラン第3期計画策定及び第2期計画年次報告書スケ ジュール		

## 議事要旨

発言者	発言要旨
事務局	<p>本日は年末のお忙しい中ご出席いただきまして、ありがとうございます。定刻となりましたので、第2回栃木市人権政策推進審議会を開会いたします。初めに会を代表しまして、川田会長よりご挨拶をお願いします。</p>
会長	<p>〈会長からのあいさつ〉</p>
事務局	<p>それでは次第の3. 議題に入らせていただきます。議長につきましては、条例第6条により会長が議長となりますので、川田会長よろしく願いいたします。</p>
議長	<p>はい。まず(1) 栃木市人権施策推進プラン第2期計画に関する年次報告について、事務局からの説明をお願いします。</p>
事務局	<p>説明の前に、年次報告書で訂正がありますので正誤表をまずご覧ください。〈正誤表により、事前に配布した年次報告書の修正箇所を説明〉</p> <p>それでは令和3年度年次報告書の説明をさせていただきます。資料1(年次報告書)をご覧ください。</p> <p>まず、栃木市人権施策推進プラン第2期計画(以下プラン)の基本理念は「市民一人一人がお互いを認め合い、個性と能力を十分に発揮することができる環境作りや意識啓発を進め、みんなが心と安らぎを感じながら生き活きと暮らし、様々な行動をすることができる居心地の良い栃木市を目指す」です。</p> <p>この報告書は第1章を本書の趣旨、第2章を計画の概要、第3章を事業実施状況評価といたしました。</p> <p>1ページをご覧ください。趣旨ですが、令和3年度に実施された事業について、各課からの報告をもとに、人権施策の進捗状況を捉え、事業の成果を分析することにより課題を見つけ、次年度以降の人権施策のあり方に反映させるものです。第2章につきましては、プランと同じ内容になりますので説明は割愛させていただきます。</p> <p>第3章についてですが、実施状況と評価について説明いたします。事業規模①と人権視点からの事業効果②によりポイント化しております。分野別Aのグラフは重点的に人権課題として取り組む10項目、Bのグラフはその他の課題として取り組む7項目としています。プランは5ヶ年計画となっております。年度ごとの事業実績を数値化することにより、客観的に事業実施状況がわかるようグラフ化しております。また栃木人権施策推進審議会での意見の欄を設け、市民の目線での評価を行います。</p> <p>それでは、審議委員の皆様のご意見をいただいておりますので、それを中心に説明させていただきます。資料2をご覧ください。こちらに報告のありましたご意見について、項目ごとに整理してあります。</p> <p>まず1.女性についてですが、資料1.年次報告書は4ページになります。</p>

発言者	発言要旨
	<p>全国女性市長によるびじょんネットワーク会議の意見交換という内容を加えてはどうかというご意見がありました。その他に、婦人相談や婦人相談員という婦人という言葉についてのご意見。それから企業への働きかけ、そしてDV被害というような意見がありました。この意見につきましては、年次報告書資料1の7ページの審議会での意見の欄に記載させていただきたいと考えております。</p> <p>続いて、子供についてですが、虐待・いじめ・不登校の問題やヤングケアラー、不登校の心のケアといった意見がありまして、これにつきましても、年次報告書の13ページの審議会での意見という欄に記載させていただきたいと思います。</p> <p>3. 高齢者についてですが、高齢者について「親族申立人に対する申立支援や首長申立の実施についての実績は？」という問いがあり、担当課に確認したところ、あるということで、1行事業を追加したいと思います。成年後見人制度の一環なので、15ページの一番上に1行追加しまして、合計ポイントはそれぞれ19、17、38で平均が4.8というように修正したいと思います。また高齢者施設職員の悩みなど現実的な課題についての把握という意見がありました。</p> <p>5. 部落問題につきましては、部落問題が現在もあるということをお言葉で伝えられる機会を作っていただくのはどうか。また相談についても積極的に行った方がという意見がありました。7. インターネットによる人権侵害では、SNSでの誹謗中傷に対するゲートキーパー等の養成講座等の活用といった意見がありました。9. 働く人の人権につきましては、コロナ禍での就業の課題といった意見がありました。それぞれ、審議会での意見の欄に記載したいと思います。</p> <p>10. 災害に伴う人権問題につきましては、その整理欄についてご意見があり「災害等のいざという時のために」という表現を、「災害等の発生時および被災後を想定し」ということに訂正したいと考えております。</p> <p>11. その他の人権問題については、「エッセンシャルワーカーに感謝の気持ちを送ります」という表現を「エッセンシャルワーカーへ感謝の気持ちを忘れず行動しましょう」という文言に整理し、修正したいと思います。</p> <p>全体の意見として、分野別Aと分野別Bのグラフについてのご意見があり、分野別Aは重点課題として毎年事業を実施する課題という位置づけであり、分野Bはその他ということで5か年をかけて課題を解消するような事業を展開するというふうに考えております。そのため、グラフBにつきましては、今までやった3か年の平均値をグラフ化するという形の方が見やすいのではないかとということで修正いたしました。</p> <p>それから、「コミュニティや自治体での研修を実施してはどうか。」や「コロナ禍での活動をやはり感染症に考慮しながら進めていく必要がある」、</p>

発言者	発言要旨
	<p>「年次報告はもっと早い時期に、8月頃に検討できるように」という要望、それから「人権一般についての被害者の援助に主眼を置くことが必要である」というような意見がありましたので、審議会での意見として、全体のところに記載していきたいと考えております。</p> <p>以上で説明は終わります。</p>
議長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>委員の皆さんの御意見を伺いたいと思います。どうでしょうか？</p>
委員	<p>資料2（審議委員の意見の整理）を、全て資料1（年次報告書）の中に再度書き込んでいくという考え方になりますね。</p>
事務局	<p>はい。そうです。</p>
委員	<p>そうすると28ページの枠がありますが、この空欄の枠に関しては消えるという、そういう理解でよろしかったですか。</p>
事務局	<p>はい。意見がなければ消えてしまうんですけども、せっかくですから記載したいので、各項目ごとにご意見をいただけるといいのかなと。</p>
議長	<p>他の審議委員さん、どうでしょうか？</p>
委員	<p>この28ページには、前のページに対してのポイントが入りますか。</p>
事務局	<p>はいそうです。性的指向、性同一性障害等に係る人権というところでの、何かこういう啓発をした方がいいんじゃないかとか、そういうご意見、今の問題点があれば、記載したいと思います。</p>
議長	<p>どうでしょうか？具体的にありますか。</p>
委員	<p>少し広い広義の意味になるかもしれませんが、前のページの一番下の段に、令和2年11月から施行されたパートナーシップ宣誓制度を利用されてるところが、累計で書かれてるとか、その現状をもう少し深く書かれてるところがあまり見受けられなくて、大いに推進していただきたい。非常に発展的な所だと思うので、人権に配慮しながら、もう少し詳しい報告をさらに周知していただくようなことはできるのかなと思うところです。</p>
事務局	<p>はい。活動状況をもう少し詳細に記載できるように修正したいと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございます。このパートナーシップ宣誓制度については、県内においても栃木市は早い取り組みがあったのだから、どんどん皆さんに大きく宣伝してもらって、施策名を理解いただくというのがいいのかなと思います。他の審議委員さんどうですか。</p> <p>ないようなので、続きまして（2）人権施策に関する意識調査について事務局からの説明をお願いします。</p>

発言者	発言要旨
事務局	<p>資料3（市民意識調査の実施状況）をご用意ください。</p> <p>今回市民意識調査、人権アンケートになります。9月15日から10月26日に実施しました。無作為抽出により3,000人に調査票を郵送した結果、電子申請システムで274件、郵送で848件、合計1,122件の回答があり、回答率は37.4%でした。</p> <p>前は1,126人、37.5%でしたので、0.1%下回った結果となりました。結果につきましては、現在集計中でありまして次回の会議にお知らせしたいと考えております。</p>
議長	皆さんの方から、何か質問等いかがですか。
委員	実際に回答のあった1,122人について年代別構成がわかれば教えてください。
事務局	まだ精査してないので掴み的な数字になりますが、18歳から29歳につきましては9.5%。30歳から39歳が13.1%。そして40代が16.5%。50代が17.3%。60代が22.3%。70歳以上が20.4%というところで、今のところ集計しまして、もう少し精度を上げ提供したいと思います。
議長	はい。ありがとうございます。他にどうですか。
委員	今回が電子申請システムに初トライとなりますが、回収率が残念ながらちょっと下がってしまったことについて、1回では理由が見えにくいところですが、回収率に関係なく今後もこのスタンスを取っていくという状況ですか。
事務局	はい、そうです。電子申請では、若い年代の方が回答率が上がっておりますし、紙ベースの回答は50代～70代が多いというような傾向が出ていますので、今後も併用でということを考えております。
議長	ちなみに、他の市のアンケートの回収率はどのくらいなのでしょう。
事務局	<p>昨年度の8月から9月にかけて、第2次栃木市総合計画策定のためのアンケートがありまして、その時は満16歳以上の方に無作為抽出で総数8,000人に郵送し、2,576名の回答があり、回答率は32.2%でした。やはりちょっと低い数字が出ているのかなと感じています。</p> <p>他市の状況は手元にありません。</p>
議長	<p>ありがとうございます。講演などでも入場者アンケートをやりますが、やっぱりなかなか回答を書き込んで送り返して欲しいと言っても、回収率が悪いというのは、何の面に関しても厳しい所があるかなと思います。</p> <p>他の委員さんの方からありますか。ないようなので、(3)その他に進みます。何か事務局の方からありますか。</p>
事務局	ないです。

発言者	発言要旨
議長	委員さんの方から何かありますか？
委員	<p>本当にこれ（報告書）ご苦労さまです。見てみると、各課の評価が低いような。これをやりましたというので、評価が2なんです、だったら堂々と3にすればいいと思う。やりましたってだけでは、栃木市は、計画をただやればいいのかと見られるような気がします。アンケートをとって「ああ良かった」が30%でもいたら、これは評価3だと、そういう風にした方がいいような気がします。これが一つ。</p> <p>それから、これによると、多くの人に周知すると得点が高いんですが、ただ自分が高権で困ってるかという、あんまりない。問題は、その高権って問題のある人に対してだと思ふのです。だから例えそれが2人でも3人でもいれば、そここのところに対応できたら、これは本当に素晴らしいことだと思ふ。だから、そこら辺のところ、次期の計画あたりからは、この評価方法を考えた方がいいような気がします。</p>
議長	<p>ありがとうございます。評価は、相手が見てその人の評価をするわけで、自分でするわけではない。そういう点、やっぱりこの事業内容においては、行政の皆さんも自分たちで1年間の事業をしてきて、辛くつけてる点はあると思ふ。</p> <p>今、この栃木市行政にとっても本当に財政難で、いろんな面で大変な時代を迎えております。こういう高権というのはあまり表に出ない、現れない仕事内容なので、どうしても周りの意識も低いかなと思ふ。そういう中では、もう少し本当に仕事に自分たちも自信を持って。そうですね、部長ね。</p>
部長	はい。
議長	<p>予算もいろいろと工面してもらって、事業を進めていただければ、先ほどの意見が生きるんじゃないかなと思ふ。</p> <p>他の委員さんの方から何かありますか。</p>
委員	<p>女性という欄のところにDVの記載がありますが、埋もれた被害者という中には、男性のDV被害者というものもあるかなと思ふ。今回の推進プランとかいろいろご説明を聞くと、例えばDVがあれば、婦人相談員という人が相談を受けて、それでその他の保護に繋げる。女性の潜在化した被害者の方については安心してそこをご紹介できるんだけど、男性のDV被害者というのがあったときに「婦人相談員に相談をしてください」とか、「女性を保護している窓口があるからそちらに行ってください」と言ってもなかなか行きづらいと思うところがありまして。難しい問題ではあるのですが、何かそのDV被害の対応窓口というものに、性別の色がつかないような形に段々なっていくといいかなと思ふ。</p> <p>同様に今回女性というタイトルでまとめていただいた中には、母子家庭</p>

発言者	発言要旨
	<p>と限らず母子家庭父子家庭に対する施策っていう形で、両性並列してあるところがあって、とてもいいことだと思いますので、今後 DV 被害等についてもぜひ、そういうのが並び立つようになるといいなと思います。</p> <p>また、この女性というタイトルについても、いつかここも男女となったり、あるいは LGBTQ の人もいますから性の平等ということで、何か違うタイトルに変わるといいなと願っております。</p>
議長	<p>はい、ありがとうございます。その人その人の立場によって色々な意見が聞けて、今出されている問題について新しい考えが付け加えられて、少しでもより良い施策になっていくように。そのためには、皆さん一人一人の意見が本当に大事なものになりますので、どうぞよろしくお願ひします。</p> <p>他の委員さんはいかがですか。</p>
委員	<p>私は、数年間見てきた中で、元々は、この施策事業の結果だけが見える報告書であったところが、市民の目線を随分汲み取って伝える努力というのが見えてきたな、と大変感謝しております。本来で言ったら、さっき他の委員さんからもご意見をいただいたように、このアンケートをとることで、お気持ちのあぶり出しだけではなくて、自分の中で人権と向き合う、関心を寄せるということに繋げていけるのがベストだとは思っています。ただ、ペーパー上でそれが全て成立しない。予算があれば、例えば、学校単位で教員単位でいろんな形ができると思います。汲み取った市民の意見を感じさせるような報告書になってきたことに関しては、大変ありがたいなと思っています。</p>
議長	<p>はい、ありがとうございます。私からもひとつ。</p> <p>先ほど始まるときに配られた資料の中に「破戒」という特別上映会のチラシが入っております。一度この破戒は映画化されているのですが、現代の俳優で描き直したものです。部落解放同盟栃木市協議会で、12月18日大平文化会館、1月14日栃木文化会館、15日に藤岡、22日に岩舟文化会館、みなさんに近場で気楽に見ただけできるよう、上映することになりました。本当にこの映画の中では、当時の差別について露骨に描かれております。部落出身は死んでも口にすると、子供たちがそうやって育てられた、そういう時代の中を生きてきた人たちの物語です。ぜひとも時間が取れましたら、お越しいただけると幸いです。</p> <p>ありがとうございました。最後に、皆様から何か一言あれば。</p> <p>なさそうなのでその他の件についても、これで終了させていただきます。以上で本日の議題は全て終了しました。これをもちまして、議長の職を解かせていただきます。協力ありがとうございました。</p>

発言者	発言要旨
事務局	<p>川田会長、議事の進行と破戒のPR、ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様におかれましては、貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>本審議会での意見等を審議会の見解としまして、令和3年度年次報告書をまとめたいと思います。</p> <p>また、来年度につきましては栃木市人権施策推進プランの第3期計画を策定する年度でありますので、新プラン策定に向けて今後ともご指導、ご助言のほどよろしくお願いいたします。</p>